

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成24年4月27日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

平均余命と平均寿命

ときどき県民の方から、「年齢別の平均余命はどうなっているのか教えてもらいたい」とか、「熊本県の高齢化率を教えてもらいたい」という問い合わせをいただきます。

そこで、今回は、厚生労働省が作成している「業務・加工統計」の「生命表」に加えて、平成23年10月1日現在の高齢化率を紹介します。

「生命表」は、「完全生命表」と「簡易生命表」の2種類ありますが、その違いは下記の表1のとおりです。

「完全生命表」は、国勢調査による日本人人口(確定数)や人口動態統計(確定数)をもとに、5年ごとに作成され、一方、「簡易生命表」は、推計人口による日本人人口や人口動態統計月報年計(概数)をもとに、毎年作成されているものです。

なお、国勢調査年については、例年どおり「簡易生命表」が作成され、国勢調査の結果(確定数)の公表後に「完全生命表」が作成されています。

表1 「完全生命表」と「簡易生命表」の違い

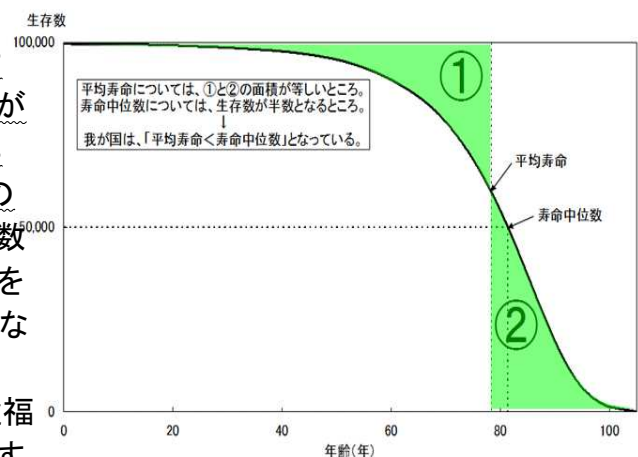
	完全生命表	簡易生命表
作成年	5年毎	毎年
人口	国勢調査	10月1日現在推計人口
死亡数	人口動態統計(確定数)	人口動態統計月報年計(概数)
出生数	人口動態統計(確定数)	人口動態統計月報年計(概数)

(引用:厚生労働省HP)

☆生命表の目的

生命表は、ある期間における死亡状況(年齢別死亡率)が今後変化しないと仮定したときに、「各年齢の者が1年以内に死亡する確率」や「平均してあと何年生きるかという期待値」などを、死亡率や平均余命などの指標(生命関数)によって表したものです(これらの関数値は現実の年齢構造には左右されず、死亡状況のみを表し、死亡状況を厳密に分析する上で不可欠なものとなっています)。

また、【0歳の平均余命である「平均寿命」】は、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用されています。



☆平成22年簡易生命表

さて、平成22年簡易生命表によると、「男性の平均寿命」は79.64年で、「女性の平均寿命」は86.39年です。下記の表2のとおり、対前年との差で男性は0.05年伸びて、女性は0.05年小さくなり、その結果、男性と女性の平均寿命の差は0.10年縮まりました。

「主な年齢」の平均余命をみると、男女とも年齢が高くなるに従って、前年との差は小さくなっており、特に女性の平均余命は全年齢で前年を下回りました(悪性新生物、高血圧疾患などの死亡率の変化が減少の要因)。

表2 主な年齢の平均余命とその伸び

年齢	男性			女性		
	平成22年	平成21年	前年との差	平成22年	平成21年	前年との差
0歳	79.64	79.59	0.05	86.39	86.44	△0.05
20歳	60.07	60.04	0.03	66.75	66.81	△0.06
40歳	40.81	40.78	0.03	47.17	47.25	△0.08
60歳	22.84	22.87	△0.03	28.37	28.46	△0.09
70歳	15.08	15.10	△0.02	19.53	19.61	△0.08
80歳	8.57	8.66	△0.09	11.59	11.68	△0.09
90歳	4.41	4.48	△0.07	5.76	5.86	△0.10

☆「老年人口の割合」と「平均余命の期待値」

表3は、平成23年10月1日現在の人口推計の表です。

熊本県の老年人口の割合は、25.76%(平成22年に比べて0.1%増加)となっており、老年人口が年少人口を21万8千人上回っている状況です。

人生80年、90年とも言われる今日です。誰もが歳を取ると老化が進んでいきますが、いつまでも年齢よりも若々しく、健康な心と体を維持する事を日ごろから心がけるようにすることが大切です。

「**軽度な運動を継続すること**」、「**散歩**」や「**自宅内の掃除**」、「**庭の手入れ**」、「**買い物**」のほかに、

「**同じ年代の人と話すこと**」もとっても大事なことです。

平均余命は、生命表の目的にあるように、死亡状況(年齢別死亡率)が今後変化しないと仮定したときにおける、「平均してあと何年生きられるかという期待値」を指しますので、「個人個人の余命があと何年であるのかということではありません。」しかし、個人的には期待したい気持ちがありますよね。

今回は、厚生労働省の統計情報から各種資料を引用しました。

詳しくお知りになりたい方は、<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/list54-57.html> にアクセスしてみてください。

表3 都道府県(年齢3区分)総人口 (平成23年10月1日現在)

	総人口(千人)	年少人口(0~14歳)	生産年齢人口(15~64歳)	老年人口(65歳以上)	老年人口のうち75歳以上の割合	老年人口の割合
全 国	127,799	16,705	81,342	29,752	14,708	0.2328
1 沖縄県	1,401	247	912	242	127	0.1727
2 東京都	13,196	1,491	8,992	2,713	1,295	0.2056
3 神奈川県	9,058	1,184	6,009	1,865	838	0.2059
4 愛知県	7,417	1,063	4,824	1,530	691	0.2063
5 滋賀県	1,414	211	908	295	147	0.2086
10 福岡県	5,079	687	3,248	1,144	576	0.2252
22 佐賀県	847	123	515	209	116	0.2468
28 熊本県	1,813	249	1,097	467	262	0.2576
29 宮崎県	1,131	157	681	293	161	0.2591
32 長崎県	1,417	191	855	371	204	0.2618
36 鹿児島県	1,698	232	1,016	450	257	0.2650
38 大分県	1,192	155	718	319	174	0.2676
45 高知県	758	91	447	220	123	0.2902
46 島根県	712	91	414	207	121	0.2907
47 秋田県	1,074	121	634	319	180	0.2970

熊本県の統計情報は「<http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/>」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、5月25日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課交通政策・情報局 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp